

## 質 問 書

2022 年 2 月 16 日

「コンゴ民主共和国マタディ橋道路整備計画準備調査」

(公示日:2022 年 2 月 2 日/調達管理番号:21a01091)について、質問と回答は以下の通りです。

通番号	当該頁項目	質問	回答
1	企画競争説明書 6 頁 6) その他留意事項	<p>「紛争影響国・地域における報酬単価の加算」の対象に関し、企画競争説明書の該当箇所には「コンサルタント等契約における経理処理ガイドライン(QCBS 方式対応版)」(2020 年 4 月)の「表 4: 紛争影響国・地域における報酬単価(月額上限額)を参照するよう記載されておりますが、同ガイドライン記載の報酬単価は 2020 年度の単価となります。</p> <p>しかし、公示日が 2021 年 3 月 3 日以降の案件には、2021 年度報酬単価を適用すると貴機構ホームページにて公表されておりますので、2021 年度報酬単価(月額上限額)の紛争影響国・地域の単価を適用してよろしいでしょうか。</p> <p>ご確認よろしくお願い申し上げます。</p> <p>該当ページ URL <a href="https://www.jica.go.jp/announce/information/20210303.html">https://www.jica.go.jp/announce/information/20210303.html</a></p>	<p>ご理解のとおり 2021 年度報酬単価上限額の適用となります。</p> <p>ガイドラインの改訂を毎年は出来かねますので、必要部分については別途ご案内しております。</p>
2	企画競争説明書 5 頁 8 プロポーザル等の提出 (6) 見積書	-----	<p>橋面舗装及びアプローチ道路の開削調査については、自然条件調査の一部に含める形に修正いたします。</p> <p>別紙 1 の通り訂正いたします。</p>

3	企画競争説明書 19 頁 (6) 地下水調査	-----	橋面舗装及びアプローチ道路の開削調査については、自然条件調査の一部に含める形に修正いたします。 別紙 2 の通り訂正いたします。
4	企画競争説明書 22 頁 (7) サイト状況調査、自然条件調査	-----	橋面舗装及びアプローチ道路の開削調査については、自然条件調査の一部に含める形に修正いたします。 別紙 3 の通り訂正いたします。
5	企画競争説明書 34 頁 5. 現地再委託	-----	橋面舗装及びアプローチ道路の開削調査については、自然条件調査の一部に含める形に修正いたします。 別紙 4 の通り訂正いたします。
6	企画競争説明書 37 頁 コンゴ民主共和国マタディ 橋道路整備計画準備調査にか かかる自然条件調査仕様書 (案)	-----	橋面舗装及びアプローチ道路の開削調査については、自然条件調査の一部に含める形に修正いたします。 また、開削調査以外の自然条件調査についても、一部記載を修正いたします。 別紙 5 の通り訂正いたします。

以上

第一章 企画競争の手続き

8 プロポーザル等の提出

(6)見積書

修正箇所（赤文字部分を削除）

(6) 見積書

本件業務を実施するのに必要な経費の見積書（内訳書を含む。）の作成に当たっては、「コンサルタント等契約における経理処理ガイドライン」（2020年4月）を参照してください。

（URL: <https://www.jica.go.jp/announce/manual/guideline/consultant/quotation.html>）

1) 「3 競争に付する事項」において、契約全体が複数の契約期間に分割されることが想定されている場合は、各期間分及び全体分の見積りをそれぞれに作成して下さい。

2) 以下の費目については、別見積りとしてください。

- a) 旅費（航空賃）
- b) 旅費（その他：戦争特約保険料）
- c) 一般業務費のうち安全対策経費に分類されるもの
- d) 直接経費のうち障害のある業務従事者に係る経費に分類されるもの
- e) その他（以下に記載の経費。別見積とする）

**\*開削調査**

\* 以下にかかる現地再委託費

- (1) 交通量調査
- (2) 自然条件調査
- (3) 環境社会配慮関連調査/社会状況調査

\* 以下にかかる調査補助員備上費

- (1) 交通量調査の実施または補助、データ整理、分析
- (2) 自然条件調査に係る資料収集等
- (3) 環境社会配慮関連調査/社会状況調査にかかる現地調査、ステークホルダー協議の開催支援、資料収集等

第 6 条 実施方針及び留意事項

(6) 地下水調査

修正箇所（赤文字部分を修正・加筆）

(6) アプローチ道路の舗装損傷要因の把握地下水調査

~~アプローチ道路の排水及び地下水に関する調査を実施する。~~アプローチ道路の舗装損傷の要因として、山側からの地下水の浸透が要因の一つである可能性があり、~~アプローチ道路の舗装開削調査等を行い、舗装の損傷状況および路盤等の湿潤状況を確認~~~~路盤等の湿潤状態を、舗装開削調査等により確認~~することとする。地下水の浸透状況等の調査手法については、プロポーザルにて提案することとする。また、路面排水が適切に処理されていないために路盤等への浸水が生じ舗装の損傷の要因となっている可能性もあるところ、路面及び周辺の雨水の排水状況について十分に確認を行う。

第7条 業務の内容

(7) サイト状況調査、自然条件調査

修正箇所 (赤文字部分を修正・加筆)

(7) サイト状況調査、自然条件調査

1) 橋梁状況調査

対象橋梁（アプローチ道路を含む）において、現橋の損傷状況や添架してあるユーティリティ等を確認する。損傷状況についてはその原因を可能な限り究明し、その対応策を設計に反映する。添架されているユーティリティは橋面舗装打ち替え時の対応（**移設の要否**、移設位置、費用の負担、工程等）について、その管理者および実施機関と協議を行う。また、事業予定地の周辺状況を踏査し、橋面舗装補修時及びアプローチ道路補修の施工ヤード等の検討を行う。

基本的には橋面舗装及びアプローチ道路の舗装について開削調査を行い、舗装及び鋼床版の損傷状況の確認を行う。**(想定される細目については別紙1に記載)** 必要な開削調査の箇所数、方法についてはプロポーザルにて提案を行うこととする。

合わせて、ハンガーロープの桁との接続部、鋼床版裏面、桁、横構についても目視点検を行い、重大な損傷の有無を確認する。アンカレッジ内部の損傷の進展の有無についても確認を行う

2) 自然条件調査

本調査にて行う設計、施工計画、積算について必要な精度を確保するため、**アプローチ道路について**、別紙1に示す自然条件調査を行う。自然条件とは、気温、湿度、降雨量、災害履歴、地形調査、地質調査などが含まれる。本件については、現地再委託にて実施することを可とする。

具体的な自然条件調査の細目（調査項目、調査内容、仕様、数量等）について、また上記項目以外で必要であると判断される自然条件等の調査が考えられる場合は同内容につき、プロポーザルで**別見積もり**にて提案すること。

#### 第4章 業務実施上の条件

##### 5. 現地再委託

修正箇所（赤文字部分を修正・加筆）

##### 5. 現地再委託

現地再委託を想定している以下の項目については、当該業務について経験・知見を豊富に有する機関・コンサルタント・NGO・現地施工業者等に再委託して実施することを認める。なお、これら調査については別見積とする。

- (1) 交通量調査
- (2) 自然条件調査
- (3) 環境社会配慮関連調査/社会状況調査

現地再委託先にあたっては、「コンサルタント等契約における現地再委託契約ガイドライン」（2017年4月）に則り選定及び契約し、委託業者の業務遂行に関して適切な監督、指示を行うこと。プロポーザルでは、現地再委託対象業務の実施方法と契約手続き（見積書による価格比較、入札等）、価格競争に参加を想定している現地業者の候補者名並びに現地再委託業務の監督・成果品の検査の方法等、より具体的な提案を可能な範囲で行うこと。

また、上記（1）～（3）の調査については現地再委託に限定せず、以下項目について調査補助員を活用した直営による実施も選択肢として検討し、最適な方法をプロポーザルにて提案すること。（各々において現地再委託若しくは調査補助員を活用した直営調査のいずれかとし、併用は想定しない。ただし、自然条件調査のうち舗装開削調査については併用可とする。）なお、これら調査については別見積とする。

- (1) 交通量調査の実施または補助、データ整理、分析
- (2) 自然条件調査に係る資料収集等
- (3) 環境社会配慮関連調査/社会状況調査にかかる現地調査、ステークホルダー協議の開催支援、資料収集等

コンゴ民主共和国マタディ橋道路整備計画準備調査にかかる  
自然条件調査仕様書（案）  
修正箇所（赤文字部分を修正・加筆）

## 1. 目的

自然条件調査は、本業務を行う上で必要な精度を確保するため、事業サイトにおける地形、地質などの自然条件を的確に把握するもので、これにより対象施設・設備の適切な構造および規模を決定し、設計、据付計画、積算に資するものとする。

また、本事業により新設される施設・設備が環境に及ぼす影響を適切に予測し、本事業の妥当性の判断に資すると共に、環境への影響の少ない設計・施工を検討するために行うものである。

以下に実施すべき調査項目を参考までに記すので、先方要請内容も勘案の上、コンサルタントは必要な調査の細目（調査方法、項目、手法、位置、数量、成果など）を検討し、プロポーザルにて提案するものとする。

## 2. 調査項目

### （1）気象調査

調査目的：道路設計、橋梁設計等の検討に必要な自然条件の基礎情報を収集する。

調査位置：施工予定区間とその周辺

調査内容：ヒアリング・現地踏査等による既存データ・資料の収集

（気温、湿度、降雨量、災害履歴等）

実施方法：直営または現地再委託（必要に応じ調査補助員の備上を認める）

成果品：分析結果等

### （2）舗装開削調査

調査目的：橋面舗装および床版の損傷状況、アプローチ道路の舗装の損傷状況を確認し舗装補修設計の基礎情報とする。

調査位置：施工予定区間のうちコンサルタントが選定する箇所

調査内容：既存舗装の一部を開削し、コンサルタントまたは再委託業者が必要な調査を行い、その後に開削箇所の舗装補修を行う。

実施方法：直営または現地再委託（必要に応じ調査補助員の備上を認める）

成果品：開削工事報告書および調査結果報告等

### （3）地下水、排水状況調査

調査目的：道路設計、橋梁設計等の検討に必要な、アプローチ道路道路の排水及び地下水に関する情報を収集する。

調査位置：施工予定区間とその周辺

調査内容：舗装開削調査箇所その他必要な箇所において等による路盤等の地下水位や路床、路盤等の湿潤状態の確認及び路面及び周辺の雨水の排水状況の確認

実施方法：直営または現地再委託（必要に応じ調査補助員の備上を認める）

成果品：地下水、排水状況調査報告書等

（４）地形測量

調査目的：道路補修設計、~~橋梁設計~~および施工に必要な地形や河川の情報を把握する

調査位置：施工予定区間とその周辺

調査内容：平板、基準点、中心線、横断、縦断、~~河川縦断~~、~~河川横断~~等の各種測量

実施方法：直営または現地再委託

成果品：地形図、道路縦横断図等（明瞭な図を準備調査報告書に掲載すること）

（５）地質調査

調査目的：道路補修設計、~~橋梁設計~~および施工に必要な地質の状況を把握する

調査位置：施工予定区間とその周辺

調査内容：~~ボーリング~~、~~標準乾乳試験~~、土質試験、CBR 試験、骨材材料試験等

実施方法：直営または現地再委託

成果品：地質調査報告書等（明瞭な図を準備調査報告書に掲載すること）

以上